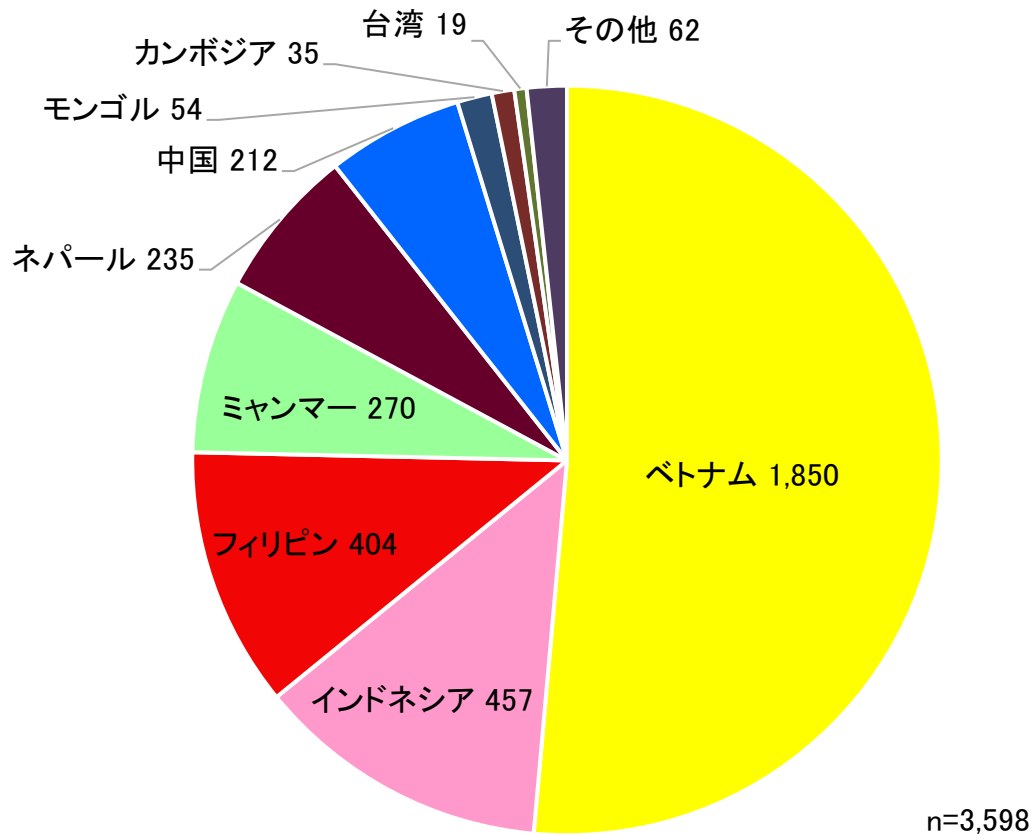


# 介護分野における 特定技能協議会への加入状況

# 特定技能外国人の国籍別の人数について

- 特定技能外国人について国籍別にみると、ベトナムが1,850人と最も多く、次いでインドネシア(457人)、フィリピン(404人)、ミャンマー(270人)、ネパール(235人)の順となっている。

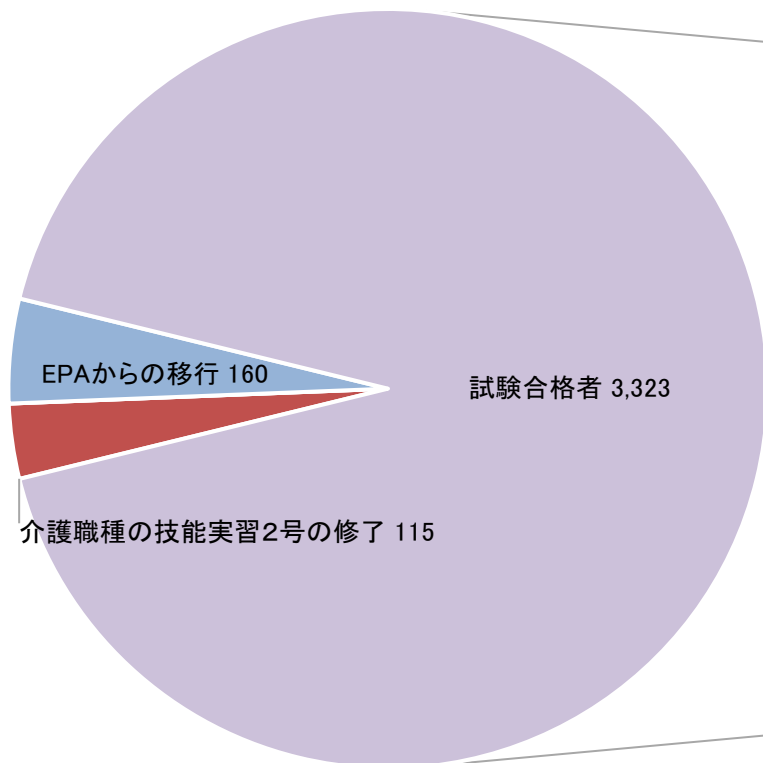


# 特定技能外国人の在留資格の取得経緯等について

- 特定技能外国人の在留資格の取得経緯としては、試験合格者が3,323人と全体の90%以上を占めている。次いで、EPAから移行した者、介護職種の技能実習2号修了者の順となっている。
- また、試験合格者の国籍をみると、ベトナムが1,817人と約55%を占めており、次いで、インドネシア、フィリピン、ミャンマーの順となっている。

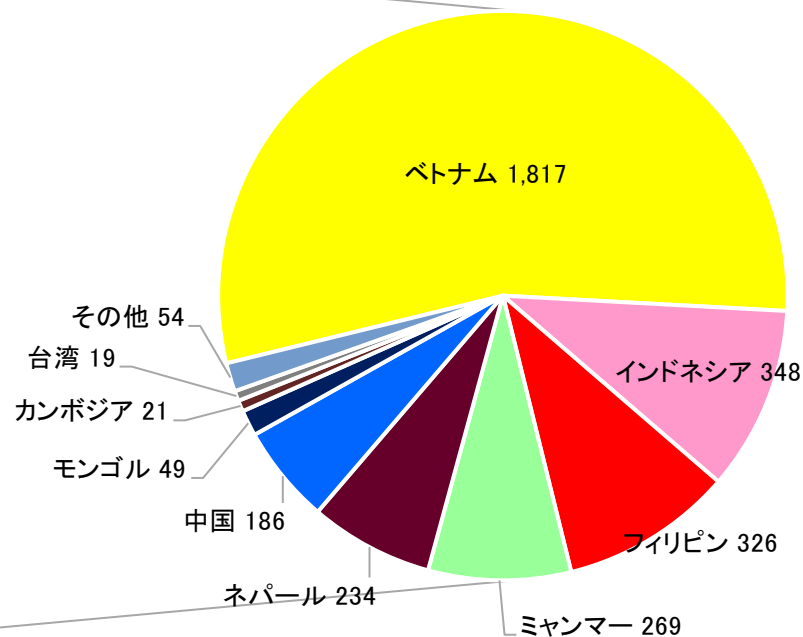
在留資格の取得経緯

n=3,598



試験合格者の国籍

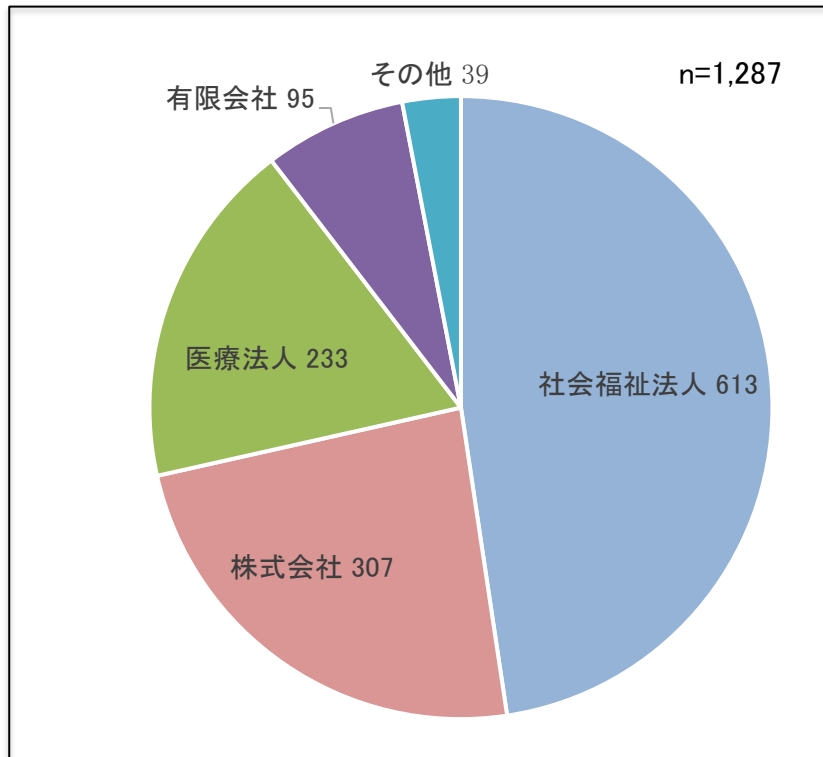
n=3,323



# 特定技能協議会の加入法人について

- 法人種類別にみると、社会福祉法人が全体の約48%を占めており最も多い。次いで、株式会社（約24%）、医療法人（約18%）の順となっている。
- 地域区分別にみると、関東甲信越ブロックが最も多く、次いで近畿ブロック、東海北陸ブロックの順となっている。

## 法人種類別



## 地域区分別

